

地域で子どもを育てる仕掛けづくり！

令和4年度 家庭・地域教育力再生事業

地域で共育！

事例集

「地域で共育！」では、子どもたちの成長のために、地域で活動するPTAや婦人会、NPO、企業、大学など複数の団体が協働し、それぞれのノウハウやネットワークを活かしながら、事業を企画・運営していただいています。

子どもを真ん中に広がる輪 林田まろっ子地域子育て応援隊



父親を中心に子どもたちを共に育てる地域づくりを目標に活動しました。中でも、父親たちは子どもが楽しんでくれることを願い、BBQを企画しました。焚火でのマシマロ焼きは子どもたちの「おいし〜」の声に父親たちも笑顔になり、同じ気持ちを共有した姿が印象的でした。

現在ではひとり親家庭の増加、働き方も多様化しているため父親の参加が叶わない家庭もあります。しかし、多くの家庭が参加してくれたことで、他の父親や家庭とつながりを持つことができ、子どもたちの育ちを支え合える環境づくりの一歩となったように思います。

里山の植物や生き物の保全の 重要性について考えました！ 森の生き物探検隊実行委員会



大学教員や地域の専門家が協力して、人々や野生動物の暮らしに重要な役割を担っている里山の植物や生き物について、子どもたちが学ぶことができる事業を実施しました。7月下旬から8月上旬に3回にわたり、小学生とその保護者が参加し、大学生のサポートのもと、新型コロナウイルス感染症の十分な感染防止策を講じたうえで、化石の発掘体験、水辺の植物の観察、里山の昆虫の観察などの多様な活動を提供しました。小学生は植物や生き物の魅力を発見するとともに、里山を守っていくことの重要性について考えることができました。今後も、自然環境の保全や野生動物との共存の必要性を子どもたちに伝える活動を続けていく予定です。

こども事業をした事が無い人が集まって 子ども達と地域を探検してみました 香西こども探偵団実行委員会



子どもとの関わりの薄かった商工振興会や漁協をはじめとした有志が集まって実行委員会を結成しました。不慣れで苦労もありましたが、子ども達と一緒にになって色々な体験をする1年となりました。

ウミホテルの観察を通じて瀬戸内海国立公園や里海の事を考えました。また、地名の由来となった戦国武将の香西氏が築城した勝賀城へ至る登山道を整備したり、創建されて約800年の宇佐八幡宮を手作りのさめき提灯で飾ったりしました。子ども達は毎回、元気に「次回も楽しみにしてる」と言って、励ましてくれました。

子どもスタッフが誕生し、子ども達と企画を一緒に考える楽しみも増え、続けていこうと思います。

3年ぶりの大野原古墳まつり 子どもナビゲーターが大活躍！ 大野原古墳まつり実行委員会



本年度3年ぶりに「大野原古墳まつり」を開催し、大野原古墳まつりの特徴である次代を担う小・中・高校生をナビゲーターとして養成しました。夏季休暇中にナビゲーター養成講座およびふるさと歴史教室を実施し、その成果をまつり本番に発表するようにしました。まつり当日には、子どもたちは自らの言葉で来場者に古墳を案内し、来場者から喜んでもらうことができました。

今後も、郷土の貴重な文化遺産を次世代へ引き継いでいくため、積極的に若い世代や地域の協力が得られるように取り組んでいきます。